学校番号	３００２

令和５年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　新地理Ａ　（帝国出版） 地歴高等地図－現代社会とその歴史的背景－　（帝国書院）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは生きていく中で、様々な問題に直面します。その問題を解決する際に必要となってくるのは、考える力です。地理Ａでは、世界の様々な国や地域の自然や産業、文化、課題などを、私たちの生活と比較しながら、「考える力」を身につけていくことをめざします。

また、世界の国々の実情を知り、グローバルな視点を持つとともに、現在の日本のあり方についても考えていきます。

２　学習の到達目標

・世界の地理的事象についての基本的な知識が身についている。
・現代社会の課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、表現できる。
・地図などを活用できる地理的な技能が身についている。
・歴史や政治経済とも関連付けながら、様々な国や地域について理解することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	地理的事象から課題を見いだし、多面的・多角的に考えるとともに、その過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、必要な情報を選択、活用することを通して地理的事象を追究する技能を身に付ける。	地理的な諸課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・ワークシートの記述 ・課題・提出物の状況	・定期考査 ・ワークシートの論述箇所 ・提出物の内容	・定期考査 ・授業での資料活用	・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	地球儀や地図からとらえる現代世界	地球上の位置と国家 グローバル化が進む世界	○	 ○	○	 ○	a:球面と平面で現される世界に対して関心が高まっている。 b:国々の結びつきが時代とともにどのように変化してきたのかを考察し、表現できる。 c:時差に関する地図や諸資料を読み取り、時差の計算ができる。 d:世界を結びつける貿易や交通、通信などについて理解し、その知識を身につける。	授業態度 小テスト ワークシートの記述 提出物の内容 定期考査
	人間生活を取り巻く環境	地形について 気候について 産業・文化について	○	○ ○	 ○	 ○	a:世界の地形が地域で大きく異なっていることに気づき、関心を持って取り組む。 b:世界の地形や気候の違いがなぜ生まれるのかを考察し、表現できる。 c:雨温図を作成する作業を通して、世界を各気候区分に分類する技術を養う。 d:世界の農業・工業・民族性・言語・宗教について写真や地図を使用して、理解し、その知識を身につける。	授業態度 小テスト 提出物の状況 提出物の内容 定期考査

二学期	世界の諸地域の生活・文化	中国・韓国について 東南・南アジアについて 中央・西アジアと北アフリカについて	○ ○ ○	○	○	○	a:アジア・北アフリカ地域の農業・工業・文化に対しての関心が高まっている。 b:中国は近年の経済発展でどのように変化してきたかを考察し、表現できる。 c:東南・南アジアの農業に影響を与えている自然環境について地図や資料を使って、読み取ることができる。 d:中央・西アジア・北アフリカのイスラム中心の地域性を知識として身につけ、世界情勢につても理解する。	授業態度 小テスト ワークシートの論述箇所 授業での資料活用 定期考査
		サハラ以南のアフリカについて ヨーロッパ・ロシアについて アングロ・ラテンアメリカについて オーストラリアについて	 ○ ○ ○	 ○ ○	○	○	a:ヨーロッパ・南北アメリカ・オーストラリアの農業・工業・文化に対しての関心が高まっている。 b:南北アメリカとオーストラリアが多様な人種から成り立っていることについての原因を考察し、表現できる。 c:教科書にある資料や図をもとにＥＵの利点と欠点を読み取ることができる。 d:サハラ以南のアフリカの歴史や様々な伝統文化について理解し、その知識を身につける。	授業態度 小テスト 提出物の状況 ワークシートの論述箇所 提出物の内容 授業での資料活用 定期考査
三学期	地球的課題と私たち 身近な地域の課題	地球的・世界的諸問題 身近な地域の課題	○	○	○	○	a:現在起きている地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、関心を持つ。 b:地球的課題に対して、日本が果たす役割と私たちが果たす役割の両面について考察する。 c:自らが住む地域や学校周辺のハザードマップを見て、想定される災害や避難時に行くべき場所などを読み取ることができる。 d:世界で起こっている様々な地球的諸課題について理解し、その知識を身につける。	授業態度 小テスト 提出物の状況 ワークシートの記述 提出物の内容 授業での資料活用 考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。